

# 「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」

## 趣旨説明

# 2025年大阪・関西万博とは？

## EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

### ■開催期間

2025年5月3日（土）～11月3日（月）までの185日間

### ■開催場所

夢洲  
（大阪港の人工島）

### ■入場者（想定）

約2,800万人

### ■テーマ

いのち輝く未来社会の  
デザイン

### ■開催決定の経過

2017年9月に立候補申請文書（ビッド・ドシエ）提出

2018年11月に決定（ロシア、アゼルバイジャンと競合 フランスは立候補取り下げ）



# そもそも、万博とは？

## 世界中の人々が参加する国家プロジェクト

《20世紀まで》

**殖産興業型・国威発揚型**

世界初の万博は  
1851年ロンドン  
万博  
1970年大阪万博  
が、日本、アジ  
アで初

エッフェル塔は  
1889年パリ万博の  
モニュメント

総会決議  
B I E

1994年

「人類共通の課題の  
解決策を提示」

《21世紀から》

**理念提唱型**

開催年	開催地	テーマ
2000	ハノーバー	人間・自然・技術
2005	愛知	自然の叡智
2010	上海	より良き都市、より良き生活
2015	ミラノ	地球に食料を、生命にエネルギーを
2020	ドバイ	心をつなぎ、未来を創る

# 1970年 大阪万博

## ■開催期間

1970年3月15日

～ 9月13日 183日間

## ■会場

大阪・千里丘陵 330ha

## ■参加国 77

## ■入場者 6,421万人

## ■テーマ 人類の進歩と調和

## ■Topic

シンボル「エキスポタワー」→「太陽の塔」

動く歩道、モノレール、リニアモーターカー、電気自動車、ピクトグラム

テレビ電話、携帯電話、缶コーヒー、人間洗濯機

メタボリズム建築、膜構造（エアドーム）など様々なパビリオン建築

日本初の地域冷房システム 原子力発電の試送電



# 2005年 愛知万博 (愛・地球博)

## ■ 開催期間

2005年3月25日  
～ 9月25日 185日間

## ■ 会場

愛知県長久手市・瀬戸市  
182ha

## ■ 参加国 121

## ■ 入場者 2,205万人

## ■ テーマ 自然の叡智 (史上初の環境万博)

## ■ Topic

サブテーマ「循環型社会」 17種分別でリサイクル、生分解性プラスチック  
環境アセスメントの実施、メタン発酵・燃料電池・PV・蓄電複合システム  
ドライミスト、緑化壁「バイオラング」、ICチップ入り入場券  
燃料電池バス、自動運転バス 市民参加・企画運営パビリオン「地球市民村」  
理念を継承した生物多様性保全の国際目標「愛知目標」



# 2025年大阪・関西万博 テーマとコンセプトは？

**テーマ：** いのち輝く未来社会のデザイン  
“Designing Future Society for Our Lives”

**サブテーマ：** Saving Lives (いのちを救う)  
Empowering Lives (いのちに力を与える)  
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

- ・ 「人」 (human lives) にフォーカス。
- ・ 個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会の在り方を議論。
- ・ 国連が掲げる2030年の**SDGs (持続可能な開発目標)** の達成に貢献。
- ・ 日本は官民挙げて「Society5.0」を推進。  
IoT、AI等の先端技術をフル活用して課題解決。

**コンセプト：** 未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

# 「会場」予定地はどんなところ？



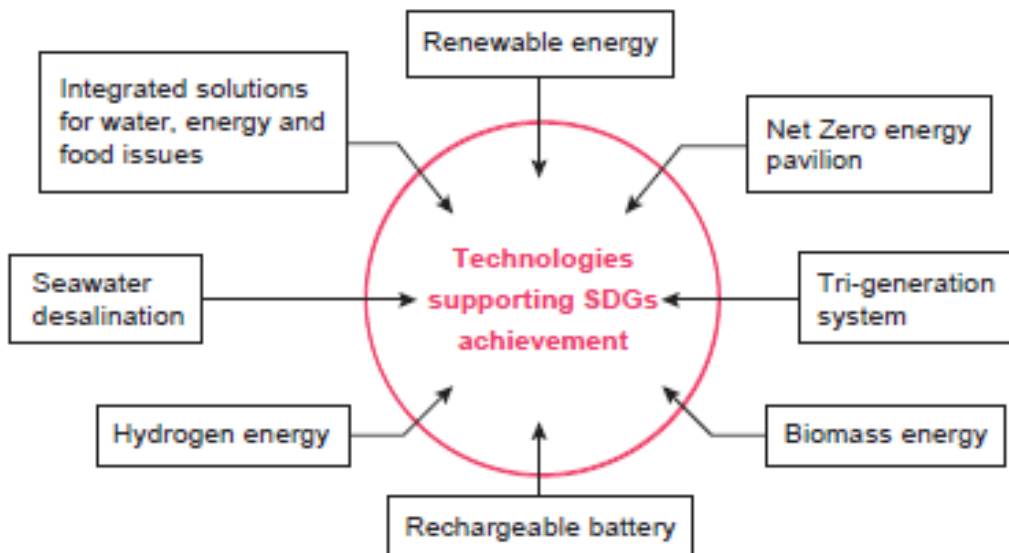
約155ha  
夢洲のアクセスは  
橋やトンネルで  
都心部と接続。  
地下鉄の延伸も  
計画。



# 「環境」では何をめざす？

環境に配慮した「**ゼロエミッション万博**」をめざす

- 「**環境技術のショーケース**」でSDGsに貢献  
ゼロエネルギーパビリオン、水素エネルギー、海水淡水化等
- 会場内のメガソーラー電力を活用した再エネ水素FCV、EV





# どんな「モノ」ができる？ どんな「コト」ができる？

- 主催者が作る**会場インフラ、テーマ館、イベント空間**
  - 参加国、企業、開催地政府がつくる**パビリオン、イベント**
  - ベンチャー企業、NGO、市民による**マイクロ出展、イベント**
  - AR（拡張現実）やMR（複合現実）による**バーチャル出展**
  - **会場運営システム、参加者輸送やサービス**
- 
- 世界中から**オンライン**で参加、体験できる
  - 開催前から、新しい価値観や社会・経済システムを共創するための**オンラインプラットフォーム**に参加できる

# いまは何が進んでいる？

2020.7 プロデューサー（10名）決定

8.25 ロゴマーク決定

（今後）基本計画策定

→各分野別の詳細計画を順次策定していく

→会場着工は遅くとも開催2年前

**TEAM EXPO 2025 募集開始！**

<https://www.expo2025.or.jp/team/about/>

# Toward 2025...



# 大阪府から実施できるサポートについて

- ミーティング開催にあたり、会議室の確保やメンバーへの連絡等を通じて、**検討の場を提供**。  
※経費のサポートはなし。
- アイデア実現に向けた連携先の発掘のため、アイデア発表会の開催等、**発信の場の提供**。大阪府の広報媒体も適宜活用。
- 連携先との**連携機会の創出を支援**。